

平成 2 7 年度（平成 2 6 年度対象）

教育委員会の事務に関する点検評価報告書



海津市教育委員会

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成２０年４月１日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならないこととされました。

これを受け、海津市教育委員会では、平成２０年度から、すでに企画部（市長部局）において、事務事業評価（行政評価）を実施しており、このため、前述法令による教育委員会の点検評価については、その手法を活用しており、更に教育委員会が目指す方針に沿って教育行政が執行されているかの達成度に着目して最終評価を行ってきました。

また、外部評価については、教育行政と一般行政の調和を図るという観点から、本市における事務事業評価の取り組みとしての学識経験を有する者の知見を活用し、点検評価報告書を作成してきました。

こうした中、平成１８年に約６０年ぶりに改正となった教育基本法の理念や、国・岐阜県教育振興基本計画を踏まえたうえで、本市の実情に応じた特色ある教育を振興していくため、平成２６年３月に「海津市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画では、今後５年間を通じてめざす教育の姿として『「いのち」をつなぐ教育』を基本理念に掲げるとともに、その実現に向けて取り組むべき具体的施策を示しています。

具体的には、「世代をつなぐ」「心をつなぐ」「地域をつなぐ」の３つの基本的視点を定め、６つの基本目標からなる重点施策を盛り込んでいます。

今回の点検評価は、平成２６年３月に作成した「海津市教育振興基本計画」を基に平成２６年度実施事業について作成しました。また、より専門的な見地からの外部評価を受けるため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとしました。

この点検評価は、教育施策のＰＤＣＡマネジメントサイクルにおいて検証（ＣＨＥＣＫ）の役割を担うものとして位置付けられ、単に評価をすること自体が目的ではなくその結果を改革改善（ＡＣＴＩＯＮ）につなげていくことこそが肝要であります。

本報告書における評価結果を真摯に受け止め、評価から課題を見出し、改善に努めることで、施策のより一層の充実と効果的な推進を図り、本市教育行政の基本理念である『「いのち」をつなぐ教育』をめざして、教育の振興に取り組んでまいります。

平成２７年１１月

海津市教育委員会

目 次

1 はじめに	・ ・ ・ ・ ・ 1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）	
(4) 点検・評価結果の構成	
2 教育委員会の活動状況	・ ・ ・ ・ ・ 3
(1) 会議の開催	
(2) その他の活動状況	
①教育委員の研修状況	
②教育委員の学校訪問等	
③教育懇談会の実施	
④教育委員の関係行事等への出席	
⑤広報活動	
3 「海津市教育振興基本計画」に基づく管理及び執行状況の評価	・ ・ ・ ・ ・ 7
(1) 海津市の教育理念	
(2) 計画の体系	
(3) 施策別評価	
4 外部評価（学識経験者による意見）	・ ・ ・ ・ ・ 38

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律※¹（昭和31年6月30日法律第162号）」が改正され、毎年、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することとされました。

このことから、海津市教育委員会は効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆さまへの説明責任を果たすため、平成20年度から学識経験者の知見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、海津市教育振興基本計画に掲げられた「基本施策」とし、それぞれの点検・評価は、事業の行程管理の把握と進捗状況を踏まえて行っています。

(3) 点検・評価の方法と評価区分（基本施策ごとの評価について）

点検・評価は、平成26年度に実施した事業の取り組み状況を明らかにするとともに、今後の課題と対応の方向性を示すことと致しました。

※評価の目安

- A…計画どおり又は計画以上の成果を得た
- B…概ね目標は達成できた
- C…課題を残し目標も十分達成できなかった

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方から意見、助言をいただきました。

(4) 点検・評価結果の構成

ア. 基本目標

海津市教育振興基本計画の基本目標です。

イ. 施策

海津市教育振興基本計画の基本目標に定めた、重点的に取り組む施策です。

ウ. 基本施策〔事業内容、実績、対象者等〕

各施策に掲げられた具体的な取組事項を示しています。

エ. 成果課題等

事業の実施に伴い、教育上効果があった内容、成果及び課題等を示しています。

オ. 内部評価

計画目標に対し、取組の進捗状況などを踏まえA～Cの3段階評価を行っています。

カ. 担当課

事業を実施した担当課等です。

※ 1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



2 教育委員会の活動状況

平成 26 年度の教育委員会の活動について、「教育委員会会議」と「学校訪問」などの項目に分け、教育委員会自身による点検を行いました。

(1) 会議の開催

教育委員会会議は原則として毎月 1 回の予定で開催することとして、平成 26 年度の開催は 14 回、付議された議案は合計 106 件に上りました。

以下、平成 26 年度の開催状況を報告します。

○平成 26 年度教育委員会会議の開催状況

回 数	期 日	上程案件（件）
第 1 回	平成 2 6 年 4 月 3 日（木）	5 件
第 2 回	平成 2 6 年 5 月 1 2 日（月）	7 件
第 3 回	平成 2 6 年 6 月 4 日（水）	2 件
第 4 回	平成 2 6 年 7 月 1 6 日（水）	7 件
第 5 回	平成 2 6 年 8 月 8 日（金）	1 1 件
第 6 回	平成 2 6 年 9 月 1 1 日（木）	4 件
第 7 回	平成 2 6 年 1 0 月 2 日（木）	3 件
第 8 回	平成 2 6 年 1 1 月 4 日（火）	7 件
第 9 回	平成 2 6 年 1 1 月 1 9 日（水）	3 件
第 1 0 回	平成 2 6 年 1 2 月 9 日（火）	7 件
第 1 1 回	平成 2 7 年 1 月 9 日（金）	9 件
第 1 2 回	平成 2 7 年 2 月 2 日（月）	1 6 件
第 1 3 回	平成 2 7 年 3 月 6 日（金）	1 2 件
第 1 4 回	平成 2 7 年 3 月 2 6 日（木）	1 3 件

議案について

教育委員会の権限に属する事務の執行は、「海津市教育委員会教育長事務委任規則第 2 条※²」に掲げるものを除き、その権限を教育長に委任すると定められていますが、一方で、同規則第 3 条は委任された事務についても重要かつ異例の事態が生じたときは教育委員会の決定に委ねるとしており、実際には重要事項の多くは教育委員会の会議の場で決定され、平成 26 年度に付議された議案は全て会議規則に従い適切に処理されました。

また、議事の終了後には事務局各課から事業の実績、進捗状況及び計画等について報告又は説明を行い、今日的な教育課題への対応等、共通の認識をもちつつ理解を深めることとしました。

※２）海津市教育委員会教育長事務委任規則 （抜粋）

（事務委任）

第２条 教育委員会は、次に掲げる事項を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (3) １件１,０００万円を超える教育財産の取得を市長に申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前２号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め、及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員（臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。）の任免その他の人事に関する
こと。
- (8) 県費負担教職員以外の学校、図書館、博物館、公民館その他の教育機関及び事務局の職員（臨時的任用職員及び非常勤の職員を除く。）の懲戒に関する
こと。
- (9) １件１,０００万円以上の工事の計画を策定すること。
- (10) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (11) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を市長に申し出ること。
- (12) 法律若しくは、これに基づく政令又は条例に基づき置かれている附属機関の委員
又は委員を委嘱すること。
- (13) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (14) 学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (15) 公文書の公開の決定に関する
こと。
- (16) 個人情報の開示、請求及び削除の決定に関する
こと。
- (17) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２７条の規
定による点検及び評価に関する
こと。

議事について

簡易な事務手続き等の案件を除き、条例や規則の改正或いは事業計画の承認等、重要事項の審議は、問題意識を共有して事業効果の高い結果が得られるよう、事務局に詳細な説明を求め、活発な議論が展開されました。

また、事務局は、資料の提示や詳細な説明等、より多くの情報提供に努め、メリハリのあ
る会議の運営に心掛けました。

(2) その他の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議以外にも研修や学校訪問等の実施或いは関連する教育団体との懇談などに参加しました。

①教育委員の研修状況

事業名	期 日	場 所	内 容
市外視察研修	平成27年2月28日 (土)	・ おおぶ文化交流の 杜図書館 ・ 名古屋城	・ 指定管理者制度で運営している図書館と海津市から切り出した石を使った名古屋城の石垣を視察した。

②教育委員の学校訪問等

教育委員会会議の開催に合わせて、平成26年度においては市内の小・中学校を訪問し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で、その学校のよさや抱えている課題などを把握することに努めました。

期 日	午 前	午 後
平成26年 5月 9日(金)	吉里小学校	西島保育園
平成26年 5月12日(月)	東江小学校	
平成26年 5月15日(木)	西江小学校	城南中学校
平成26年 6月 9日(月)	高須小学校	高須認定こども園
平成26年 6月19日(木)	下多度小学校	下多度幼稚園
平成26年 6月26日(木)	今尾小学校	今尾認定こども園
平成26年10月26日(月)	平田中学校	海西保育園
平成26年10月29日(水)	石津小学校	石津認定こども園
平成26年11月10日(月)	城山小学校	南濃中学校
平成26年10月24日(金)	日新中学校研究発表会	
平成26年11月27日(木)	大江小学校研究発表会	
平成26年12月 5日(金)	海西小学校研究発表会	

③教育懇談会の実施

より良い本市の教育行政の実現に向けて、教育委員がさまざまな分野の教育関係者と意見交換する教育懇談会を実施しました。

対 象	期 日	場 所
市 長	平成26年12月 9日(火)	海津市役所 南濃庁舎

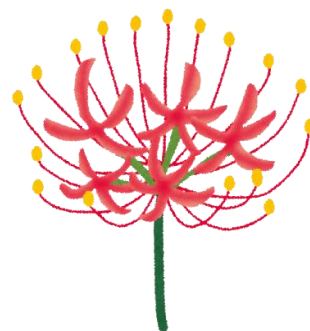
④教育委員の関係行事等への出席

期 日		行 事 等	場 所
4 月	3 日（木）	小中学校教職員等着任式	文化センター
	7 日（月）	小中学校入学式 幼保認定こども園入園式	各小中学校 各幼保認定こども園
5 月	31 日（土）	運動会	高須小学校
6 月	5 日（木）	スポーツフェスタ	平田中学校
9 月	18 日（木）	体育祭	城南中学校、日新中学校
		スポーツフェスタ	南濃中学校
	20 日（土）	運動会	吉里、東江、大江、西江、 海西、石津、下多度小学校
	27 日（土）	運動会	今尾、城山小学校
11 月	5 日（水）	市小中学校音楽会	文化センター
1 月	22 日（木）	教育研究大会	文化センター
3 月	6 日（金）	卒業式	各中学校
	25 日（水）	卒業式	各小学校
	26 日（木）	小中学校教職員等離任式 幼保認定こども園卒園式	文化センター 各幼保認定こども園

⑤広報活動

定期的に開催する教育委員会会議をはじめとして、その主な活動は、海津市ホームページで公開しました。

今後もより一層、市民の皆様の理解と協力を得るため、広報紙やホームページ等、既存のメディアの活用方法を工夫する必要があると考えています。



3 「海津市教育振興基本計画」に基づく事業の行程管理及び執行状況の評価

海津市教育委員会では、本市の教育行政について「どのようにしたいか。」また、「そのために何をすればよいか。」とその姿勢と政策の方向を明らかにし、より良い教育環境づくりを推進するために、毎年リーフレット「海津市の教育」を作成してきました。さらに、平成26年3月にはその集大成といえる「海津市教育振興基本計画」を策定しました。

この報告書は、「海津市教育振興基本計画」の3つの基本的視点、6つの基本目標からなる重点施策ごとに点検・評価を行い、取組状況や教育委員からの主な意見についてまとめました。

(1) 海津市の教育理念

【基本理念】
「いのち」をつなぐ教育
愛情と思いやりに溢れた一人一人の生命が つながり生きる喜びを感じる教育

基本目標	施 策	基 本 施 策
良好な学校教育環境の整備・充実	就学前教育の充実	①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進
		②幼保小の連携強化
		③幼稚園・保育園の適正規模の推進
		④幼稚園、保育園での読み聞かせ
		⑤多様な保育サービスの提供
	学校教育の充実	①軸を明確にした学校経営の構造化
		②確かな学力を身につけさせ「生きる力」を育む指導の充実
		③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実
		④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実
		⑤学習意欲を高める指導や取組の充実
		⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫
		⑦特別支援教育に関わる教職員の研修
		⑧キャリア教育の推進
		⑨郷土学習の推進
	教育設備の充実	①学校施設の大規模改修の推進
		②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進
		③エアコンの計画的整備

	豊かな心の育成	①道徳教育の充実
		②多様な体験活動の推進
		③人権同和教育の充実
	教職員の資質の向上	①「海津市教育スタンダード」の構築
		②教職員研修の充実
		③研究授業や公開授業、交流授業等の促進
		④核となる人材育成の推進
	学校給食の充実及び食育の推進	①地域全体で取り組む食育の推進
		②学校給食の充実
		③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底
		④効率的な運用
	中学校の適正配置	①南濃町地内中学校適正配置の推進
		②統合中学校校舎の整備
生涯学習環境の整備・充実	生涯学習環境の充実	①学習ニーズの把握
		②学習環境の整備
		③学習情報の整備
		④地域住民が集う場の提供
		⑤施設環境の整備
	多様な学習機会の提供	①生涯学習活動と指導者の育成
		②生涯学習情報の共有
		③生涯学習の意識啓発
		④図書館や資料館等の学習機関の機能充実
	新たな学習活動への支援	①高齢者の持つ技能の伝承
		②学習活動を支援する人材の活用
		③学習情報の提供方法の工夫
青少年の健全育成	地域で進める青少年の健全育成	①「こども健全育成指針」の推進
		②組織的な活動の充実
		③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上
	家庭教育力の向上	①あたりまえのことができる家庭教育支援の推進
		②子育て学習の提供と相談体制の充実
		③家庭教育学級の工夫改善と充実
文化の振興	文化の継承と発展	①指定文化財の保存・保護、後継者の育成
		②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究
		③文化資源の活用
	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	①文化財の情報発信と周知
		②自然・歴史資源の発見と活用
		①市民文化活動への支援

	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	②文化や芸術に親しむ心を育む
		③市民参加型による芸術創作活動の奨励
		④多様な芸術活動の支援
スポーツ活動の振興	スポーツ推進計画の策定・推進	①スポーツ推進審議会の設置
		②スポーツ推進計画の策定
	スポーツ施設の整備と有効活用	①スポーツ施設の計画的な改修
		②スポーツ施設の長寿命化推進
		③スポーツ施設の利用促進
	スポーツ活動の充実	①スポーツ少年団の育成
		②市民参加型スポーツ活動の推進
		③高齢者や障害者スポーツ活動の推進
		④総合型地域スポーツクラブの支援
	競技スポーツ活動の支援	①指導者の育成と確保
		②選手の育成と強化
地域間交流の推進	地域間交流の推進	①交流教育の充実

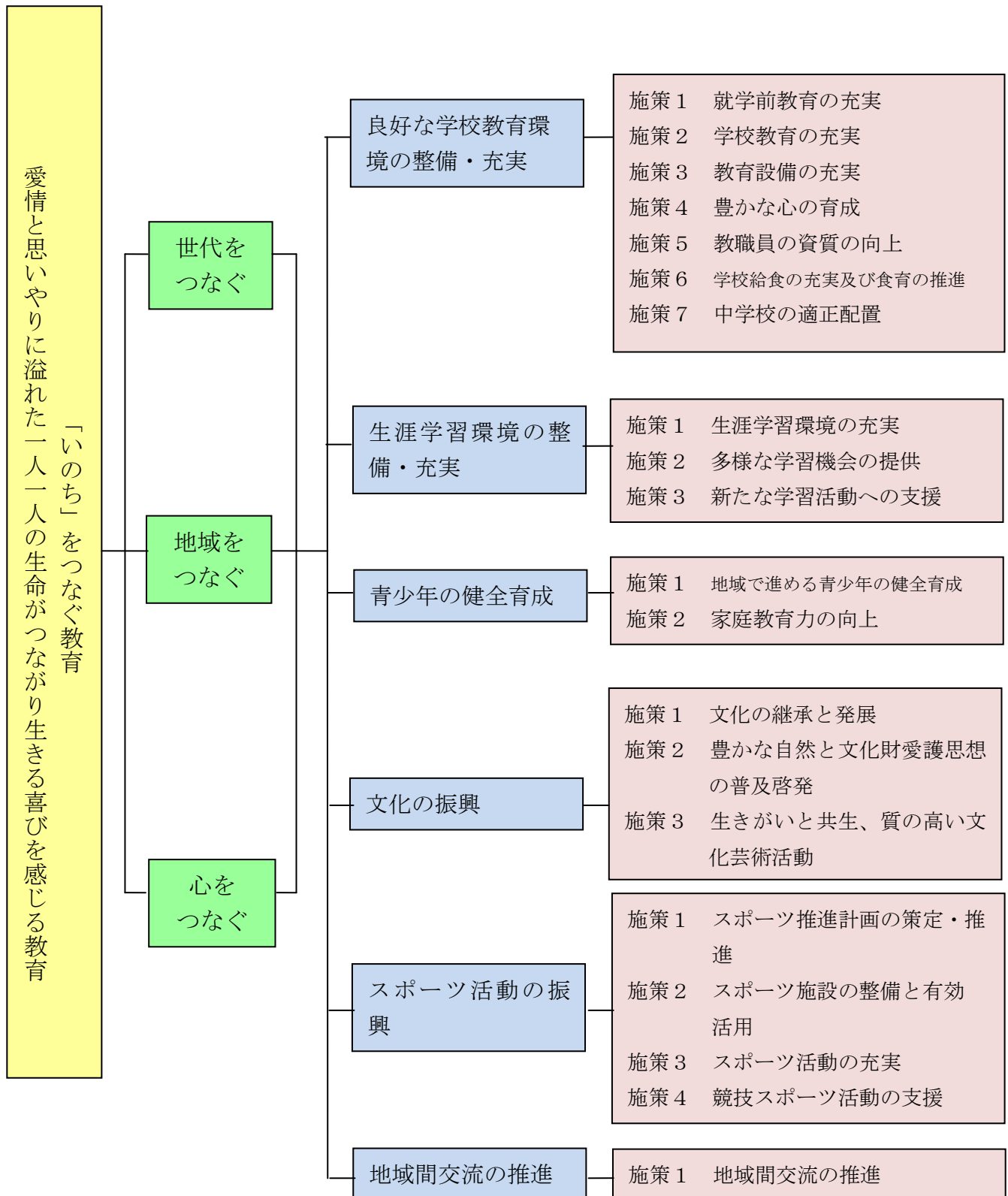


(2) 計画の体系

【基本理念】 【基本的視点】

【基本目標】

【施 策】



(3) 施策別評価

基本目標		良好な学校教育環境の整備・充実
施 策	就学前教育の充実	
基 本 施 策 〔事業内容 実 績 対象者等〕	①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもがのびのびと活動できる環境づくりや指導を行った。 ②幼保小の連携強化 ・幼児教育・保育研究会のほか、各園ともに幼保小交流活動を実施した。 ③幼稚園・保育園の適正規模の推進 ④幼稚園、保育園での読み聞かせ ・各園で幼児教育・保育の一環として本の読み聞かせを行った。 ⑤多様な保育サービスの提供 ・子ども・子育て新制度施行に向けて、「子ども・子育て支援事業計画」を策定した。	
成果課題等	【成果】 ① 豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・一人一人の発達に応じた環境整備と幼児期にふさわしい基本的生活習慣、規範意識、道徳性が身につくよう指導を行い、幼児教育の推進が図れた。 ②幼保小の連携強化 ・幼保小連携協議会の開催のほか、幼児教育保育研究会を5回開催し、幼保小の連携が図れた。また、各園では、さつまいも収穫や運動会への参加など小学校との交流を深めた。 ④幼稚園、保育園での読み聞かせ ・発達段階にあった読み聞かせを行い、幼児期からの本への親しみや読書習慣を身につけさせることができた。 ⑤多様な保育サービスの提供 ・「子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、預かり保育・地域子育て機能等の拡充を図った。 【課題】 ①豊かな人間形成を培う幼児教育の推進 ・子どもたちを主体的に考え、質の高い教育・保育を推進していくため、更なる保育士の資質向上を図る必要がある。 ②幼保小の連携強化 ・小学校へのスムーズな移行に向け、更に、小学校と園の交流を深める必要がある。 ⑤多様な保育サービスの提供 ・保育サービスのニーズに応えるために、保育士の増員が必要である。	
内 部 評 価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	こども課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

施 策	学校教育の充実
基 本 施 策 事業内容 実 績 対象者等	①軸を明確にした学校経営の構造化 ・各校にて学校経営全体構想を作成し、教育委員訪問にて、校長より説明 ②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実 ・各校にて研修計画を作成。主題設定及び具体的計画をもとに、学年部会、教科部会等で共通理解、共通実践を図った。 ③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実 ・海津市統一テスト（小学校５年生・中学校２年生）の実施及び結果分析 ・算数、数学においては、少人数指導及びＴ．Ｔ（ティームティーチング）を行い、きめ細かな指導を図った。 ・高須小学校では、専門的な指導の充実を図るため高学年にて教科担任制を導入した。（社会、理科、算数） ④思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取組の充実 ・ＡＬＴ（外国語指導助手）を配置して、英語や外国語活動における児童生徒のコミュニケーション能力の向上に努めた。 ・朝読書の時間の確保や学校図書館の積極的な活用などを行った。 ⑤学習意欲を高める指導や取組の充実 ・校外学習や体験活動の機会を増やし、児童生徒の学習に対する興味・関心が高まるように努めた。 ・電子黒板を全ての学校に１台導入した。 ⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫 ・各課、発達支援センターや幼保、学校等が密接な連携を図り、一人一人の実態及び教育的ニーズをしっかりと把握した。 ・市費学級支援員を１名増員した。 ⑦特別支援教育に関わる教職員の研修 ・岐阜大学教育学部 橋本 治 准教授による巡回訪問（小中学校 14 校）。授業参観後は、各校にて研修会を設けた。 ⑧キャリア教育の推進 ・87 の市内事業所にて、中学校２年生生徒 350 人が職場体験学習を行った。 ⑨郷土学習の推進 ・各校の社会科教員を中心とした委員により、「海津市郷土学習の手引き」を作成した。 単元指導計画を作成 小学校低学年、高学年は作業帳的に作成 中学校は、資料集として作成

成果課題等	【成果】 ①軸を明確にした学校経営の構造化 ・学校訪問にて、校長の学校経営方針に基づき、教職員が共通理解して取り組んでいることが、児童生徒の生き生きとした姿につながっていた。 ③基礎的な知識・技能をしっかりと身に付けさせる指導や取組の充実 ・海津市統一テスト及び全国学力・学習状況調査から、結果分析を行い、授業改善等に取り組むことができた。 ⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫 ・より一人一人の実態に応じた指導を丁寧に行い、児童生徒が安心して学習に臨むことができた。 ⑧キャリア教育の推進 ・年々受入事業所が増えてきており、地域におけるキャリア教育への理解が深まってきている。 ⑨郷土学習の推進 ・海津市の全児童生徒が、ふるさと海津に誇りをもてることを願って、各学年の教科等の授業にて活用できる「郷土学習の手引き」を作成した。 【課題】 ②確かな学力を身に付けさせ「生きる力」を育む指導の充実 ・学力の向上と学校生活の充実度は比例していることが、全国学力・学習状況調査質問紙からも明らかとなっている。各学校の学力向上指導改善プランに基づき実践していくことが必要である。また、教師が教材研究を行い、魅力ある授業をつくっていくことが何よりも大切である。 ⑤学習意欲を高める指導や取組の充実 ・電子黒板を今後さらに増やし、有効な活用方法について、研修会を実施し電子黒板の活用の一層の充実を図っていく必要がある。 ⑥一人一人の実態に応じた、きめ細かい支援や指導の工夫 ・学習や生活の充実のために、今後、市費の支援員の増員が必要である。 ⑦特別支援教育に関わる教職員の研修 ・特別な支援を要する児童生徒の言動により、不安定になる学級が増えてきている。教職員研修はもちろんのこと、組織で対応できる学校体制作りが必要である。 ⑧キャリア教育の推進 ・事業所の数が増えていることに反して、生徒数が減少している。市で取り組む事業であるため、受入事業所すべてに生徒を体験させたい。生徒の希望の取り方、生徒のニーズに応じた事業所への依頼などを検討する必要がある。
-------	---

内 部 評 価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	学校教育課	



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
基本施策	教育設備の充実	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①学校施設の大規模改修の推進 ・吉里小学校の大規模改造工事を行った。 ②校舎や屋内運動場等のバリアフリー化の推進 ③エアコンの計画的整備 ・城山小学校のエアコン改修工事に伴う実施設計を行った。	
成果課題等	【成果】 ①学校施設の大規模改修の推進 ・吉里小学校の大規模改造工事を行った。 吉里小学校は昭和51年に建築され、経年により学校建物の損耗、機能低下がみられた。平成26年度、教育環境の改善及び建物の耐久性の確保を図るため大規模改造工事を行った。大規模改造工事に併せて、防災機能の強化を図るため、建具の転倒防止及び窓ガラスの飛散防止の工事を行った。 ③エアコンの計画的整備 ・城山小学校のエアコン改修工事に伴う実施設計を行った。 小学校では、城山小学校以外の学校はエアコン整備済みである。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	教育総務課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実	
基本施策	豊かな心の育成	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①道徳教育の充実 ・旧平田町の３校の道徳教育計画訪問が行われた。 ②多様な体験活動の推進 ・各学校の実態に応じ、各教科や総合的な学習の時間、特別活動など教育活動全体を通じて、自然体験、社会体験、ボランティア体験、異学年や高齢者との交流活動などの体験的・実践的活動を推進した。 ③人権同和教育の充実 ・人権尊重と人間平等の基本理念を確立するとともに、日常生活に潜在する差別や偏見の解消に努めた。また、地域ぐるみで人権教育を推進した。	
成果課題等	【成果】 ①道徳の授業の充実 ・児童生徒が仲間と関わり合いながら学んだり、資料に登場する主人公の心情を多面的に考えたりと、道徳の授業に主体的に取り組む姿が見られた。 ②多様な体験活動の推進 ・吉里小、東江小、大江小、西江小の４校合同の宿泊研修の実施。テレビ会議システムで４校の事前交流を進めた。 ③人権同和教育の充実 ・各学校では、挨拶運動や友達への感謝の思いを伝え合う活動等を通して、意図的・計画的に人権尊重の気風がみなぎる学校づくりを進めた。 【課題】 ①道徳教育の充実 ・児童生徒の実態把握を大切にし、道徳の時間のねらいをさらに明確にしていく必要がある。 ・道徳教育は、全教育活動の中で行われるものであり、各教科、領域との関連を明らかにした指導を大切にすることが必要。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	学校教育課	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

基本施策	教職員の資質の向上	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①「海津市教育スタンダード」の構築 ・教育委員学校訪問では、各学校が学校スタンダードを紙面で示し、本訪問の主張点を明らかにした。 ②教職員研修の充実 ・海津市教育研究所を核として、教職員の経験や時代の変化に応じた研修を行った。（情報モラル、特別支援教育、人権同和教育など）。 ③研究授業や公開授業、交流授業等の促進 ・中学校入学説明会を市内同時開催し、小・中の連携を図った。 ④核となる人材育成の推進 ・若手人材養成研修、中堅幹部研修を各年４回開催し、各学校のリーダーとして必要な資質について研修した。	
成果課題等	【成果】 ①「海津市教育スタンダード」の構築 ・学校スタンダードを構築し、共通理解を図った教職員の言動や児童生徒の姿から定着してきていることがうかがえた。 ・各学校で作成された「学校スタンダード」の交流を教務主任会等で行い、各校の実践状況が把握できた。 ②教職員研修の充実 ・毎年同じ研修会とならないよう、講師の選定や内容について吟味することができ、充実した研修が開催できた。 【課題】 ①「海津市教育スタンダード」の構築 ・市在住の教員の占有率が低く、初任者、１校目、２校目完了者が多く、３年以内で転出する教員が多い。また、３０代前半までの教員と５０代の教員が多いことから、将来を見据えた地域の教員の育成が急務である。 ④核となる人材育成の推進 ・教職員としての魅力や資質能力を高める研修の充実に、さらに図っていく必要がある。 ・多忙化解消に向けた取組を実施し、より児童生徒にかかわる時間を確保する必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	学校教育課、教育研究所	

基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

基本施策	学校給食の充実及び食育の推進
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①地域全体で取り組む食育の推進 ・市内農産物を給食献立へ積極的に取り入れた。 ・生産者や委託業者と連携した食育活動を行った。 ・保護者や地域への情報発信、啓発活動を行った。 ②学校給食の充実 ・地産地消献立、日本各地の郷土料理、外国料理、時代の要請に即した献立を実施した。 ・献立打合せ会の充実を図った。 ③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底 ・委託業者と連携した衛生管理と事故防止の徹底に努めた。 ④効率的な運用 ・光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行った。
成果課題等	【成果】 ①地域全体で取り組む食育の推進 ・市内農産物（きゅうり、トマト、なす、南濃みかんなど）を定期的に給食献立に取り入れ、地産地消の良さを献立表に掲載したり、学級活動や教科、総合的な学習の時間などの場で紹介できた。また、機会をとらえ、生産者や委託業者と連携した食育活動（月 2、3 回）や、保護者対象の給食試食会（年間 15 回）などを実施し、情報発信や啓発に努めることができた。 ②学校給食の食事内容の充実 ・献立の打合せ等充分に検討を行い、地産地消を進める「食育の日」献立（毎月 19 日）のほかに、「海津の食材の日」献立（毎月 1 日）を定め実施した。また、日本各地の郷土料理、外国料理、防災や復興支援、健康増進など時代の要請に即した献立も実施し、「給食がおいしい。毎日が楽しみ。」といった声も多く聞かれ、食事内容の充実を図ることができた。児童生徒の残食率は、給食センター開設から 6 年経過したが、当時から比べると、小学校は、平均 8 %から平均 3 %に減少、中学校は、平均 3 %から平均 1 %に減少している。 ③学校給食の衛生管理と事故防止の徹底 ・委託業者の衛生管理は、作業前の個人衛生チェック、朝礼・昼礼・終礼での連絡、報告、反省会など、日常的に指導や注意喚起がなされている。また、月 1 回の衛生教育と同時にテストの実施、年 2 回の安全担当責任者（ATS）による衛生教育も行われており、事故防止の徹底に努めることがで

	きた。 ④効率的な運用 ・委託業者では、電気・ガス・水道水等の適正な使用とその削減をQC（クオリティ・コントロール、品質管理）活動に位置づけ、周知徹底されており、光熱水費等の適正な使用とその削減の推進に努め、市と委託業者との連携を密にした運用を行うことができた。 【課題】 ①地域全体で取組む食育の推進 ・優先的に市内農産物を使用することを心掛けているが、生産・使用時期、生産・使用量、調理方法等の問題が多く、毎年、全体使用量の５％程度に止まっているため、生産者や取扱業者とのより一層の連携を図り、地産地消を推進していく必要がある。 ④効率的な運用 ・市と委託業者と連携を密にし、安心・安全で、よりおいしい給食を提供するための工夫や改善、従業員の調理技術の向上を働きかける必要がある。	
内 部 評 価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	学校給食センター	



基本目標	良好な学校教育環境の整備・充実
------	-----------------

基本施策	中学校の適正配置
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①南濃町地内中学校適正配置の推進 ・平成 28 年 4 月 1 日の統合に向けて「海津市南濃町地内中学校統合委員会」（以下「統合委員会」という。）〔第 1 回目：平成 24 年 12 月 11 日開催〕を開いた。なお、統合委員会の下に、総務部会、学校運営部会、組織検討部会の 3 つの部会を設け、具体的な協議事項を検討した。 ②統合中学校校舎の整備 ・城南中学校南舎の建設工事を平成 27 年 9 月完成を目指し、平成 26 年度、工事に着手した。なお、南舎完成までの間、一時的な施設として仮設校舎（美術室、技術室、図書室）を平成 26 年度も引き続き使用した。
成果課題等	【成果】 ①南濃町地内中学校適正配置の推進 ・海津市教育委員会（平成 26 年 1 月 16 日開会）において、統合中学校の校名について「城南中学校」に決定した。この決定を受け、校歌、校章、制服、体操服などについて各部会にて協議を行った。一部、制服、体操服、カバンなどについては、2 校（南濃中、城南中）にて具体的に詰めることとなった。結果、平成 26 年度においては、校章、制服、体操服、カバン、靴といった生徒が日々使用する物について決定することができた。 ・統合実施の平成 28 年度には、現在（平成 27 年度）の 1、2 年生がそれぞれ、2、3 年生になることから平成 25 年度に、城南中・南濃中両校の学校行事等、平成 28 年度新設校の教育計画を作成し中学校生活の思い出ができる限り共有できるよう編成した。平成 26 年度も前年度に引き続き、2 校の交流が深められるよう、合同による音楽発表会などを行った。 ②統合中学校校舎の整備 ・平成 25 年度に技術科棟の解体及び仮設校舎の建設を行い、平成 26 年度に南舎の建設工事に着手した。平成 27 年 9 月末完成を目指し、学校の管理運営上、生徒に支障を来たことなく工事を進めることができた。 【課題】 ①南濃町地内中学校適正配置の推進 ・校名決定を受けて、校章、制服、体操服など決定することができた。今後は、校歌を引き続き検討していくとともに、生徒会交流ができるように計画をする必要がある。 ・なお、決定したものは早く関係者に周知する必要がある。 ②統合中学校校舎の整備 ・平成 26 年度に南舎建設と併せて、既存、北舎の大規模改造および外溝（テニスコート含む）の整備について、協議を行う必要がある。

内 部 評 価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	教育総務課	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実
------	--------------

基本施策	生涯学習環境の充実
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①学習ニーズの把握 ・幼児親子講座・子ども教室（小・中）・高齢者学級・成人講座・公開講座・女性セミナー・情報講座等ニーズに応じた講座を開講した。 ②学習環境の整備 ・サークル活動ができ、集う場として活用できる施設を優先的に確保した。 ③学習情報の整備 ・学習情報の一元化に努め、情報の集約を図った。 ④地域住民が集う場の提供 ⑤施設環境の整備 ・文化センター設備・ふれあいセンター・ふるさと会館・文化会館の改修、女性の家の耐震及び改修工事を実施した。
成果課題等	【成果】 ①学習ニーズの把握 ・既存講座の見直しだけでなく、小中学生を対象とした夏休み子ども教室の開設など、興味のもてる学習内容をテーマにするなどして、受講者が満足できる学習環境の充実が図れた。 ②学習環境の整備 ・施設予約においては、本課が管理する施設での主管する学習講座やサークル活動について、優先的に部屋の利用を確保するシステムにした結果、継続的な活動に支障がなくなった。 ③学習情報の整備 ・学習情報は「生涯学習の冊子」にまとめ、全世帯に配布している。また、同時にインターネットでも同様の内容を公開することで、幅広く周知を図るとともに、異なる情報で混乱が起きないようにできた。 ⑤施設環境の整備 ・特定建築物調査に係る改善工事や不具合箇所の修繕など、より安心して快適に施設利用をして頂けるよう配慮した。 【課題】 ①学習ニーズの把握 ・成人講座では受講者の減少が見られる講座もあるので、市民の要望も踏まえながら、時代に即した講座との入れ替えを図っていく必要がある。 ②学習環境の整備 ・本課が管理する施設は市内各所に有り、市民が十分に活動できる場を提供している。しかし、嘱託職員やシルバー委託の関係もあって、夜間に施設が閉まっており予約者に迷惑をかけることがあるため対応を考える必要がある。

内 部 評 価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	社会教育課	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実
------	--------------

基本施策	多様な学習機会の提供
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①生涯学習活動と指導者の育成 ・生涯学習を通じて心豊かに多様な学習活動ができるよう、様々な学習機会の提供を図るとともに、指導者の発掘・育成に努めた。 ・ボランティア講師の登録制度の充実を図った。 ②生涯学習情報の共有 ・学習情報の内容をわかりやすくまとめ、公開方法の工夫を図った。 ③生涯学習の意識啓発 ・学習意欲の向上を図るために受講生に講座のあり方について周知を図った。 ④図書館や資料館等の学習機関の機能充実 ・読書活動推進計画の策定をした。 ・「低地のくらし」をテーマに堀田を利用した体験学習などを実施した。 ・雑誌情報を始め、ブックスタート・おはなし会など実施し読書支援を図った。また、読書通帳の推進を図り学習意欲の充実に努めた。
成果課題等	【成果】 ①生涯学習活動と指導者の育成 ・ボランティア講師会を開き、再登録の有無と具体的な指導内容を再確認し、実践的なボランティア学習講座の開講をすることができた。 ②生涯学習情報の共有 ・学習情報は、様々な関係機関により趣味・教養・文化・健康・まちづくり講座などを開設しているため、その情報の共有を図るため「生涯学習の冊子」にまとめることにより、一元的な学習情報の提供ができた。 ③生涯学習の意識啓発 ・募集用紙にその講座の目的や意義を説明したり、受講時にはその講座の有効性を説明したりすることを通して、生涯学習への意識啓発を図ることができた。 ④図書館や資料館等の学習機関の機能充実 ・図書館では、読書通帳の普及や図書の強化により図書館カード登録者が新規で 939 人の増加、資料館では、展示施設「堀田」を利用した体験学習など市内の小学生を対象に郷土に触れる学習ができた。 【課題】 ①生涯学習活動と指導者の育成 ・登録を受け付け、全世帯配布の生涯学習の冊子に掲載し、サークル活動の支援に当たっている。サークルは中高年対象のものが多く、学齢期の児童生徒や若者のサークルを充実させるために、子どもの講座をサークル

	に移行するなど、充実に向けた工夫をする必要がある。また、指導者については、学習活動に接する機会を提供しながら育成する必要がある ②生涯学習情報の共有 ・市の情報に止まらず、大学や関係機関など学習情報を共有する必要がある。 ③生涯学習の意識啓発 ・様々な会の折に、講座の紹介や生涯学習への啓発をするなど、そのような場を増やしていく必要がある。 ④図書館や資料館等の学習機関の機能充実 ・図書館では、読書活動推進計画に基づき利用者サービスの向上、資料館では、専門性の高い施設として機能充実を図るため今後のあり方を検討する必要がある。	
内 部 評 価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	社会教育課、図書館、歴史民俗資料館	



基本目標	生涯学習環境の整備・充実	
基本施策	新たな学習活動への支援	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①高齢者の持つ技能の伝承 ・地域の歴史や風習・自然などの伝承できるふるさと学習を実施した。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の登用を行い、人材を活用した学習講座を開講した。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・冊子の配布方法や情報提供の方法の改善を図るよう努めた。	
成果課題等	【成果】 ①高齢者の持つ技能の伝承 ・地域にある資源を活用したふるさと楽校「里山体験学習」を3回開講し、地域学習の推進によりふるさと再発見が図れた。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師の意思確認を行い、積極的に講座の開設を行い、地域住民に還元できる環境づくりと人材の確保が図れた。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・「生涯学習のご案内」の冊子を全世帯に配布するだけでなく、ホームページでも講座の内容を紹介することにより、学習情報の改善が図れた。 【課題】 ①高齢者の持つ技能の伝承 ・学校教育では、祖父母参観や総合学習時にそのような取組が実施されているが、社会教育課としては、中学生を対象に昔から伝わる伝統技能の伝承と実技指導ができる講座の立案など、高齢者の持つ技術によるふるさと学習を計画的に取組む必要がある。 ②学習活動を支援する人材の活用 ・ボランティア講師という人材を活用できる、更なる学習活動の企画・計画が必要である。 ③学習情報の提供方法の工夫 ・より見やすい冊子やホームページづくりをしていく必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標		青少年の健全育成
基本施策		
基本施策		地域で進める青少年の健全育成
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①「こども健全育成指針」の推進 ・青少年問題協議会で策定した指針により、市民ぐるみの健全育成を図った。 ②組織的な活動の充実 ・市民会議・青少年推進員活動・子ども会活動・スクールボランティア等による見守り活動・市民運動など、健全育成活動の情報共有を図った。 ③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上 ・子ども会大会・ジュニアリーダー研修会等を実施した。 ・サポートリーダー養成講座を開講した。	
	成果課題等 【成果】 ①「こども健全育成指針」の推進 ・市民活動の推進にあたり指針を提示し、青少年活動の推進が図れた。 ②組織的な活動の充実 ・青少年推進員会活動や子ども会活動を円滑に運営することができた。また、市民会議での実践活動発表を通じ、青少年活動を広く紹介することができた。また、市民運動である「あったかい言葉かけ運動」が展開できた。 ③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上 ・子ども会大会やリーダー養成講座を開催し、青少年活動についての資質向上が図られた。 【課題】 ①「こども健全育成指針」の推進 ・今後も青少年に関わる全ての関係機関が参加し健全育成が図れるよう、市域全体の指針を作り上げる必要がある。 ②組織的な活動の充実 ・市民会議の運営については、新たに立ち上げた運営委員会の更なる充実に努めるとともに、青少年に関わる団体の横のつながりを図る必要がある。 ③青少年教育の充実と地域社会の教育力の向上 ・子ども会大会では、大人のマナーの悪さが目についた。大人が子どもの手本となるよう、親の教育が必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標	青少年の健全育成
------	----------

基本施策	家庭教育力の向上
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①あたりまえのことができる家庭教育支援の推進 ・にこにこ子育て支援事業による講座・研修・相談事業等の推進を図った。 ②子育て学習の提供と相談体制の充実 ・就学時検診時に入学前の親育ち講座の開講、保健師、教育相談員等による相談体制の充実など、様々な状況にある親のための学習機会を提供した。 ③家庭教育学級の工夫改善と充実 ・市内の園・学校で家庭教育学級を開講し、子育てやしつけを気軽に語り合える場や研修会を実施した。
成果課題等	【成果】 ①あたりまえのことができる家庭教育支援の推進 ・様々な家庭教育支援事業の推進により、基本的な生活習慣を整えるだけではなく、思いやりの心を大切にできる、「あ（朝ごはん）・た（時間）・り（読書）・ま（マナー）・え（笑顔）」を意識した親子関係の構築ができた。 ②子育て学習の提供と相談体制の充実 ・入学前の親育ち講座では、各小学校で講師が前年度と同一にならないように、前年度のアンケートも踏まえ、講座がマンネリ化しないような配慮ができ、子育て不安の軽減が図れた。 ③家庭教育学級の工夫改善と充実 ・私立の園も含めて参加していただき、家庭教育学級の充実が図れた。 【課題】 ①あたりまえのことができる家庭教育支援の推進 ・家庭教育支援事業（にこにこ子育て支援事業）については、支援策の再確認をすることにより質の向上・周知の方法、事業の必要性を検証する必要がある。 ②子育て学習の提供と相談体制の充実 ・「相談体制の充実」では、自閉症や障がいのある子どもの交流に偏りがちではあるが、今後も、民生主任児童委員や主幹教諭にも出席要請をして、更にレベルアップした幅広い相談体制ができるようにしていく必要がある。 ③家庭教育学級の工夫改善と充実 ・市内のすべての園に参加していただけるよう、会の趣旨を理解いただけるように説明する必要がある。

内 部 評 価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担 当 課	社会教育課	



基本目標		文化の振興
基本施策		
基本施策		文化の継承と発展
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①指定文化財の保存・保護、後継者の育成 ・指定文化財保護として保存継承に2件、保存経費に4件補助した。 ・第6次円満寺山古墳群範囲確認調査を実施した。 ・開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の調査及び指導を行った。 ・国天然記念物「津屋川水系清水池ハリヨ生息地」保存管理計画の策定委員会を設置し、策定作業（2ヵ年計画）を実施した。 ・円満寺山古墳1号墳周辺整備を実施した。 ②文化財や伝統芸能の資料収集及び調査研究 ③文化資源の活用 ・郷土文化の顕彰と保存を図り、文化資源による出前講座等を実施した。 ・歴史の教育資源を活用した小中学校出前講座を開設した。	
成果課題等	【成果】 ①指定文化財の保存・保護、後継者の育成 ・円満寺山古墳1号墳が調査により規模・概要が明らかになった。 - 開発に伴う包蔵地の事前確認調査、保存保護に係る事業補助支援も図れた。 ・ハリヨの事前調査結果を基に管理計画の指針と方針が確定された。 ・円満寺山古墳1号墳の概要がより明確になった。 ③文化資源の活用 ・歴史資源を活用した出前講座により文化財の価値観を高め、ふるさとに誇りをもてる文化遺産の公開など、地域振興を努めることができた。 【課題】 ①指定文化財の保存・保護、後継者の育成 ・調査結果の報告書作成と調査結果を踏まえた、中長期的な保存整備計画を再考していく必要がある。また、ハリヨの事前調査は、今回の調査ではできなかった項目があり、計画的に保存管理計策定に並行して調査実施が必要である。 ③文化資源の活用 ・リピータはあるものの、更なる価値観を高める必要がある。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興	
基本施策	豊かな自然と文化財愛護思想の普及啓発	
基本施策 事業内容 実績 対象者等	①文化財の情報発信と周知 ・ふるさとおもてなし隊との連携による郷土の案内を実施した。 ・県指定されている今尾左義長コンテンツの作成を実施した。 ・歴史講演会「高須四兄弟の幕末維新」を実施した。 ・市内にある近代和風建築物の一次調査の提供を行った。 ②自然・歴史資源の発見と活用 ・歴史探訪・歴史教材を活用した体験学習など、・養老山地と木曾三川が織り成す自然や産業なども含めた地域資源の情報発信を図った	
成果課題等	【成果】 ①文化財の情報発信と周知 ・史跡巡りなどを実施し郷土の歴史を紹介できた。 ・歴史講演会の開催により松平高須藩三万石の顕彰と高須藩四兄弟についてより学べる機会の充実を図り、講演会では約 600 人の拝聴者があった。 ・コンテンツの作成により、広く一般市民に今尾左義長の公開ができた ・近代和風建築物の情報提供により 3 件の建築物が岐阜県により二次調査が実施された。 ②自然・歴史資源の発見と活用 ・郷土文化の情報発信により、より多くの分野で多種多様な歴史資源の創出やふるさとを見つめ直す新たな発見ができた。 【課題】 ①文化財の情報発信と周知 ・ふるさとおもてなし隊が自主的に活動できる母体の強化が必要である。資料館については、郷土に伝わる史実及び新たな歴史資源の掘り起こしなど、資料研究の充実を図るとともに、蓄積された歴史研究資料を活用しての積極的な公開に努め、更なる企画展示等をする必要がある。 ②自然・歴史資源の発見と活用 ・郷土の歴史を紹介し学べる機会の創出など活用方法の再考が必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課、歴史民俗資料館	

基本目標	文化の振興	
基本施策	生きがいと共生・質の高い文化芸術活動	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①市民文化活動への支援 ・文化協会への補助を行った。 ②文化や芸術に親しむ心を育む ・「銀のしずく降る降るまわりに」の公演を実施した。 ・中学1.2年生を対象に「天地雅楽」コンサートを実施した。 ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・市民創作ミュージカル「五色の糸と機織りの唄」のプレ公演を実施した。 ・市民創作ミュージカルアウトリーチ（移動公演）を実施した。 ④多様な芸術活動の支援 ・芸術作品にふれあう機会のある場として文化展を開催した。 ・さまざまな芸術活動の発表の場を提供した。	
成果課題等	【成果】 ①市民文化活動への支援 ・市民が自主的に参加できる団体として内容の充実が図られた。 ②文化や芸術に親しむ心を育む ・生の舞台芸術「銀のしずく降る降るまわりに」では約600人、中学生を対象にした「天地雅楽」では約700人が参加した。 ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・新規事業として取組みを始めた市民創作ミュージカルのプレ公演、アウトリーチを行い、本公演の準備が整った。 ④多様な芸術活動の支援 ・文化展では、1日あたり約400人の来場者があった。 【課題】 ①市民文化活動への支援 ・会員数の伸びが鈍化しているため協会加入への呼びかけが必要である。 ②文化や芸術に親しむ心を育む ・生の舞台芸術に親しむ機会を与えるため計画的な予算確保が課題である。 ③市民参加型による芸術創作活動の奨励 ・本番に向けての更なる準備が必要である。（出演者・各種スタッフ等） ④多様な芸術活動の支援 ・来場者及び出展者が参加・来場しやすい企画の工夫が必要である。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課	

基本目標		スポーツ活動の振興
基本施策		スポーツ推進計画の策定・推進
基本施策	①スポーツ推進審議会の設置 ・「スポーツ推進計画」その他のスポーツの推進に関する重要事項を審議するため、「スポーツ推進審議会」を設置した。	
事業内容 実績 対象者等	②スポーツ推進計画の策定 ・「スポーツ基本法」の規定に基づき、市の実情に即した「海津市スポーツ推進計画」を策定した。	
成果課題等	【成果】 ①スポーツ推進審議会の設置 ・「海津市スポーツ推進審議会条例」の規定に基づき、委員 10 名による審議会を設置し、6 月、10 月、12 月、2 月の 4 回、会議を開催した。 ②スポーツ推進計画の策定 ・中学生以上の市民 2,000 人に対し、「スポーツに関する市民意識調査」を実施し、郵送による配布・回収を行った結果、717 件から回答を得た。（回収率 35.9%） ・スポーツ関係団体等に対してヒアリングを実施し、多くの意見を聴取した。 ・市民意識調査結果やスポーツ関係団体のヒアリング結果などを取りまとめ作成した推進計画素案に対して、審議会において委員からの意見等も得てその内容を検討し、平成 27 年 2 月 20 日の第 4 回審議会において答申を得て、「海津市スポーツ推進計画」を策定した。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標		スポーツ活動の振興
基本施策		
基本施策		スポーツ施設の整備と有効活用
事業内容 実績 対象者等	①スポーツ施設の計画的な改修 ・海津市民プール、武道館、平田グラウンドなどの改修工事を実施した。 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・南濃体育館の改修のため耐震補強計画を策定した。 ③スポーツ施設の利用促進 ・施設のPR促進と、有効活用のため毎月調整会議を行った。	
	【成果】 ①スポーツ施設の計画的な改修 ・平成24年度から37年で海津市民プールの改修を計画し、24年度天井等の改修、25年度の屋根等の改修に続き、26年度は付帯設備等の改修工事を行った。 ・海津市武道館の耐震補強等改修工事及び平田グラウンドの改修工事を行った。 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・南濃体育館の改修のため耐震補強計画を策定した。平成27年度において実施設計及び改修工事を予定。 ・平田グラウンドと南濃グラウンドの高圧受電設備の取替工事、及び東江小学校の防球ネットの改修工事を実施した。 【課題】 ②スポーツ施設の長寿命化推進 ・平田体育館の耐震補強や海津テニスコートの改修、海津グラウンドの高圧受電設備の改修などの必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
基本施策	スポーツ活動の充実	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①スポーツ少年団の育成 ・地域に根ざしたスポーツ少年団を育てるための、団員及び指導者の育成に努めた。 ②市民参加型スポーツ活動の推進 ・関係団体等との連携による市民参加型スポーツ行事を開催した。 ③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進 ・楽しくスポーツに親しむ機会を提供した。 ④総合型地域スポーツクラブの支援 ・スポーツクラブの支援と市民のスポーツ活動への参加を促した。	
成果課題等	【成果】 ①スポーツ少年団の育成 ・西濃地区の交流大会・リーダー研修会への団員の参加や、認定員養成講習会・指導者研修会に指導者を派遣し、指導員の育成を図ることができた。 ②市民参加型スポーツ活動の推進 ・城山、下多度地区において各地区の役員とともに軽スポーツやソフトボール大会などを開催し、お年寄りから子どもまで多くの参加者があった。また、平田地区においては、地域スポーツクラブにより運動会が開催され、多くの市民の参加があった。 ④総合型地域スポーツクラブの支援 ・2つの地域スポーツクラブに対し、事務指導などの面において支援を行った。 【課題】 ③高齢者や障がい者スポーツ活動の推進 ・開催する軽スポーツや運動会などの行事は、幅広い世代の市民を対象としており、高齢者や障がい者を含めたスポーツ活動としては、それらの関係団体との協議が必要である。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	スポーツ活動の振興	
基本施策	競技スポーツ活動の支援	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①指導者の育成と確保 ・研修の受講支援と指導者としての資質の向上に努めた。 ②選手の育成と強化 ・スポーツ競技への参加促進と競技力・出場意欲の向上に努めた。	
成果課題等	【成果】 ②選手の育成と強化 ・平成26年2月に発足した「東京五輪ボート競技事前キャンプ誘致委員会」が、新たにカヌーやトライアスロンなどを併せて誘致することを目的に、平成27年2月2日に岐阜県カヌー協会と岐阜県トライアスロン連合の代表を委員に加え、名称を「長良川2020東京五輪事前キャンプ誘致委員会」に変更した。 ・誘致委員会のホームページを立ち上げPRを図った。 ・オリンピック関連の委員その他、国内外の現地視察を受けた。 【課題】 ①指導者の育成と確保 ・スポーツ競技への参加人数の増加を図る必要がある。	
内部評価	B	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	スポーツ課	

基本目標	地域間交流の推進
------	----------

基本施策	地域間交流の推進	
基本施策 〔事業内容 実績 対象者等〕	①交流教育の充実 ・霧島生徒交流事業（訪問団：生徒２０名）は、今年度（受入・訪問）研修を実施した。 ・酒田市児童交流事業は、今年度（訪問団：１４名）受入研修を実施した。	
成果課題等	【成果】 ①交流教育の充実 ・毎年、姉妹都市及び友好都市の児童・生徒交流活動については、互いの郷土を誇りに想い、友好親善が深まった。 【課題】 ①交流教育の充実 ・両交流ともホームステイ型の交流のため年々参加者の確保が困難である、そのため交流プログラムの刷新や、市民への情報発信、日程等、今後の進め方に検討が必要である。	
内部評価	A	※評価の目安 A…計画どおり又は計画以上の成果を得た B…概ね目標は達成できた C…課題を残し目標も十分達成できなかった
担当課	社会教育課	

4 外部評価（学識経験者による意見）

岐阜大学名誉教授 岩田 恵司

海津市教育委員会点検評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の定めにより教育委員会から提出を受けた資料及び平成27年11月10日の教育委員の皆様との懇談をもとに意見を述べさせていただきます。

同法律第26条に定める教育委員会の点検・評価書作成に関して、教育委員会では同法第21条に定める、その職務権限にかかわる事業及び活動を、平成26年度から実施の海津市教育振興基本計画の初年度目標に沿って実施し、その結果を適切に整理区分し事務事業評価表にまとめられました。

特に学校教育関係では平成28年度南濃地区中学校統合実施に向けて慎重且確実な取り組みがされております。「城南中学校」開設後は新中学校区における地域の学校として学校、地域、家庭、教育委員会の連携についての新しい取り組みが期待されます。学校が地域の中核として機能していくことが未来を担う青少年の育成にも、町づくりにも大切なことであります。それには先ず、「連携」の意味についての共通理解を如何に持てるかが大切であります。私は関係する機関やその構成員が自分たちや自分が他に対して何ができるかという視点を持つことであると考えます。例えば、学校の教育活動に地域が協力したり、地域の活動に学校や生徒が協力するというような事例を指しているのではありません。海津市の「いのちをつなぐ教育」の原点は、耳を持って聞く心、愛して悲しみを感ずる心、手を差し伸べて思いやる心であり、その心を持って自分が何ができるかを考え行動する力であるとおもいます。協力してつくりだすものがあって一体感と充実感が生まれ次の活動に結びつくのであります。新統合中学校においては校区も変更されこの視点の大切さを敢えて申し述べさせていただきましたが、学校、地域、家庭、教育委員会の連携の視点は共通であると考えております。

その他、報告書では単年度の事業の各施策の成果と課題が克明に述べられています。教育委員会において求められる事業評価は、教育振興基本計画に基づいた継続的な事業としての単年度事業の進捗状況の把握と成果、課題を明確にすることです。海津市教育委員会は真摯に法律の趣旨に則り教育委員会評価を事業活動に繋げるよう努めてこられました。今年度報告書でもこの点が一層工夫されております。

平成27年11月10日の教育委員会で教育長、教育委員、事務局の皆様と意見交換をさせていただきました。本意見書はその結果も踏まえて書かせていただきました。

平成27年度（平成26年度対象）
教育委員会の事務に関する点検評価報告書

海津市教育委員会
平成27年11月発行
発行／海津市教育委員会

〒503-0695

岐阜県海津市海津町高須 515 番地

T E L 0584-53-1467 F A X 0584-53-1608

E-mail : kyoikusomu@city.kaizu.lg.jp